



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療
患者の人權と意思を尊重します

診療 3 本柱
がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療
地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア
地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献
災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成
地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

がん征圧月間～早期発見・早期治療 健康診断、二次健康診断を受けましょう！～

公益財団法人日本がん協会が昭和 35 年から毎年 9 月を「がん征圧月間」と定め、「がん検診の推進」「がん患者・家族への支援」「がんの正しい知識の普及と啓発」この 3 つを重点施策とし、全国の組織を挙げて取り組まれています。

当予防医療センターでは、毎年多くの方に健康診断（人間ドック）を受診していただき、令和元年度は、16,000 人を超える方々が受診されました。健康診断の結果、精密検査が必要な方、治療が必要な方には紹介状をお渡し

しています。紹介状をもらったら必ずかかりつけ医等の医療機関を受診して下さい。

高齢化社会となり、2 人に 1 人はがんになり、3 人に 1 人はがんで死亡する時代になってきました。

健康診断は自分の健康状態を把握し、健康の維持、疾病の予防や早期発見に役立てるものです。健診結果の中身を必ず確認し、みなさんの健康生活に役立てて下さい。

予防医療センター 前田 克美

令和元年度統計

対象部位	検査	受診者数 (人) (A)	要精検者数 (人) (B)	要精検率 (%) (B/A)	精検受者数 (人) (C)	精検受診率 (%) (C/B)	癌発見数 (人) (D)	癌発見率 (%) (D/A)	陽性反応適中度 (%) (D/C)
胃	上部消化管 X 線	4,348	99	2.28%	39	39.39%	0	0.00%	0.00%
	上部消化管内視鏡	4,122	96	2.33%	56	58.33%	3	0.07%	5.36%
大腸	S 状結腸内視鏡	853	42	4.92%	35	83.33%	0	0.00%	0.00%
	便潜血	10,081	473	4.69%	232	49.05%	3	0.03%	1.29%
肺	胸部単純 X 線	13,088	37	0.28%	25	67.57%	0	0.00%	0.00%
	胸部 CT	638	11	1.72%	8	72.73%	0	0.00%	0.00%
乳腺	乳腺超音波 + マンモグラフィ	4,590	67	1.46%	57	85.07%	7	0.15%	12.28%
子宮	頸部細胞診 + 経膈超音波	3,536	232	6.56%	147	63.36%	3	0.08%	2.04%
甲状腺	甲状腺超音波	4,737	29	0.61%	19	65.52%	2	0.04%	10.53%
腹部	腹部超音波	5,171	179	3.46%	127	70.95%	2	0.04%	1.57%
前立腺	PSA	1,158	79	6.82%	41	51.90%	0	0.00%	0.00%
PET-CT	PET-CT	19	4	21.05%	4	100.00%	0	0.00%	0.00%

前立腺がん検診について

1. 前立腺がんについて

わが国において、前立腺がんの患者数は増加を続けており部位別罹患患者数では男性では胃がん、肺がん、大腸がんを抜いて第1位になりました。

国立がん研究センターがん対策情報センター「がん登録・統計」によれば、「日本では男性ががんで死亡する確率は23.9%であり、前立腺がんで死亡する確率は1.3%である。2017年には9万人もの男性が前立腺がん罹患した。前立腺がんで死亡する人は罹患後5年以内でわずか1%、罹患後10年以内でも20%程度である。しかし、実際には1年間で1万2千人もの人が前立腺がんで死亡した。」との結果でした。

2. 前立腺がん検診について

前立腺がん検診は、「すべてのがんを早期に発見する」のではなく、患者さんの生命やQoLに影響する「臨床的意義のあるがん」を検出することが目的です。治療・根治が可能な段階で前立腺がんを効率的に診断し、その結果として前立腺がんにおける死亡率を低下させることが課題となっています。

前立腺がん検診ガイドライン2018年版日本泌尿器科学会編によれば、『日本泌尿器科学会は、前立腺がん死亡率を低下させる前立腺特異抗原（prostate specific antigen：PSA）検査を用いた前立腺がん検診を強く推奨する。』としています。啓発資料としては、ガイドライン内の参考資料2 前立腺がん検診受診前後のファクトシートを用います。また、前立腺研究財団「PSA検診受診の手引き2018年5月作成（抜粋版）」といった一般向け用「パンフレット」も刊行されています。PSA検査は、簡便で高い精度（80~82%）を有する検査で、一般的にはPSA 4.0ng/mL以上の場合は異常値として泌尿器科のある病院での精密検査を行うよう勧めています。

前立腺癌の家族歴を有する場合には40歳代からの受診が推奨されていますし、家族歴のない場合にも40歳代～50歳前半にPSA基礎値を測定することが重要だとされています。

下線はwebで公開されています。是非ご参照ください。



泌尿器科
中熊 健介

形成外科診療開始します

はじめまして。形成外科の松本由希子と申します。9月より当院で形成外科診療を始めさせて頂きました。

形成外科は他の診療科と比べると、病院の数も少なく、なかなか馴染みのない診療科だと思います。実際「形成外科って何?」、「整形外科と違うの?」、「美容整形ね。」などとよく聞かれます。

形成外科は「体の表面の何らかの問題点を、外科的治療によって治療する」科で、体の表面を中心とし、頭から足先まで全身のあらゆる部位を治療対象としています。具体的にはホクロなどの良性腫瘍から皮膚癌などの悪性腫瘍の手術、ケガの縫合、傷跡の修正、顔面外傷など様々です。その他にも以下のような疾患があります。

- ①先天異常・・・口唇裂、口蓋裂、小耳症、副耳、耳前瘻孔、多指症など、生まれつきの体の表面の問題点。
- ②外傷・・・熱傷、顔面外傷、外傷後の瘢痕やケロイドなど。
- ③腫瘍・・・皮膚、皮下の良性腫瘍および悪性腫瘍の摘出。摘出後の再建。
- ④美容・・・しみ、顔のたるみ、わきがなど。

この他にも様々な疾患を扱っており、「日本形成外科学会」のホームページを検索して頂けると、分かりやすく疾患の解説や専門医の検索など、一般の皆様がご

利用できるコンテンツがあります。(https://jsprs.or.jp/member/disease/)

このように疾患は幅広いのですが、現在、非常勤1名体制での診療開始のため、手術に関しては「局所麻酔・日帰り手術が可能な疾患のみ」と制限させて頂いております。全身麻酔管理や入院下での手術・術後管理が必要な場合は熊本大学病院や熊本医療センターなど、熊本市内の形成外科へご紹介させて頂きます。

とはいっても「何が日帰りのできる手術なの?」と疑問を持たれると思いますので、受診希望の方がいらっしゃればいつでもご相談ください。診療の日程については「月曜日が手術日」、「火曜日が外来日」となっております。

形成外科のない病院での勤務は初めてであり、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、地域の皆様のお力になれるよう努めますので、宜しくお願い致します。



形成外科
松本 由希子

新型コロナウイルス感染症検査の実施について

予防医療センターでは、10月1日より新型コロナウイルス PCR 検査及び抗体検査を実施致します。

◆ PCR 検査：

- ・鼻腔から綿棒を挿入して採取した粘液にウイルスがいないか検査します。
- ・**現在感染しているか**を知ることが出来ます。(検査は無症状の方に限ります)
- ・費用は 22,000 円です。(保険証は使えません)
- ・結果は、陽性の場合は検査当日に、陰性の場合は検査翌日に当センターよりご本人にお電話でお知らせ致します。また後日結果用紙を郵送致します。
- ・陽性の場合は、感染症法に基づいて、当センターより保健所へ届け出を行います。感染症と認められた場合には、法律に基づいた隔離の対応等が取られるため、保健所の指示に従って頂きます。



◆ 抗体検査：

- ・血液検査(採血)になります。
- ・抗体検査では**過去の感染状況**を知ることが出来ます。(検査は無症状の方に限ります)
- ・費用は 2,200 円です。(保険証は使えません)
- ・結果は検査当日にご本人にお電話でお知らせ致します。また後日結果用紙を郵送致します。
- ・陽性の場合は、PCR 検査を受けて頂きます。

新型コロナウイルス感染予防の為に、是非ご活用下さい。
お問い合わせ：予防医療センター (TEL：0966-22-7070)

予防医療センター 前田 克美

世界アルツハイマーデーに寄せて

当院では 2011 年 11 月より認知症ケアチームを立ち上げ活動を開始し、2016 年 9 月からは認知症ケア加算 1 を取得し、算定患者数は、2016 年は 1296 件、2017 年は 1392 件、2018 年は 1458 件と年々増加の傾向にあります。入院する認知症患者様は身体疾患による苦痛と環境の変化から行動・心理症状やせん妄を発症しやすい状況にあります。その予防や早期対応、またスタッフへの教育も重要となります。これらの役割を認知症ケアチームが担っています。

今年は特にコロナ禍に加え 7 月の豪雨災害が重なり、認知症のある人にとっても大きな困難に直面しています。ある患者さんは、テレビで水害の映像を見て混乱され、「家に帰る。家が流される」と訴えられることがありました。スタッフは「大丈夫ですよ。ここは病院なので流されることはありませんよ」「心配ですね」「家族の方も連絡が取れているので無事です」など優しく言葉を掛け、安心できるよう落ち着かれるまで寄り添っていました。優しく声を掛けるスタッフを見て、当院の認知症ケアの質が向上していると実感しました。今後も多くの困難が訪れる事もあると思いますが、地域との連携を行い、スタッフと共に力を合わせて更なる認知症ケアの質の向上に努めてまいります。

最後に、私事ではありますがこのたび「2020 年度優良

看護職員熊本県知事表彰」を拝受いたしました。熊本県で初の認知症看護認定看護師として、自施設のみでなく地域への認知症看護の講義などを通して啓蒙活動を行ってきたことに対する表彰とのことでした。これまで支えていただいた皆様のおかげだと感謝しております。本当にありがとうございました。今後とも認知症ケアチーム活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

6 階病棟 山口 幸恵



お知らせ

輸血後感染症検査を中止します

これまで輸血医療において、輸血後感染症(*1)としてのHBV(Ｂ型肝炎ウイルス)・HCV(Ｃ型肝炎ウイルス)・HIV(ヒト免疫不全ウイルス)は克服すべき重要な課題と考えられ、輸血後感染症の早期診断・早期治療を行うためにHBV・HCV・HIVの３項目について輸血後感染症検査が推奨されてきました。当院でも輸血後２～３か月以内に輸血後感染症検査のご案内をしてきました。

しかし、近年の輸血用血液製剤の安全性を確保するための検査技術(NAT検査*2)の精度向上により輸血後感染症が大幅に減少したと日本輸血・細胞治療学会から通知がでました。また、過去５年間に３例の輸血後感染症が報告されていますが、これらは全て赤十字血液センターによる遡及調査(*3)によって判明したものであり、輸血後感染症検査による発見ではありませんでした。

これらを踏まえ、当院でも輸血後感染症検査を控えることとなりました。しかしながら、基礎疾患や治療(免疫抑制剤

など)で免疫抑制状態の患者さんや患者さんの現在の病態の重篤度・緊急度から輸血後感染症が成立した場合に取り得る治療方法が限定されたり、治療法が変更される可能性がある患者さんなど、医師が必要と判断する場合は輸血後感染症検査を行います。

*1 輸血後感染症…輸血用血液製剤の中に存在する細菌やウイルスにより感染すること。特に問題となるのがHBV・HCV・HIVによる感染症。

*2 NAT検査…HBV・HCV・HIV各ウイルスの核酸を増幅することでウイルスの有無を検出する検査

*3 遡及調査…過去に献血した人が感染症に罹患したと判明した場合、過去の血液製剤を投与された患者さんが感染症に罹患していないか調査すること

院内輸血療法委員 臨床検査部 永井 香代子

2018 年がん登録集計報告

当院は、がん診療連携拠点病院(以下拠点病院)の役割の１つでもある院内がん登録を実施しています。院内がん登録とは当該施設で診断・治療を受けられた全ての患者さんのがんについての情報を登録する仕組みで、登録された情報は毎年、国立がん研究センターへ提出しています。このように各拠点病院から集められた情報から、がん診療の現状を把握し、がん医療の質の向上、がん対策の企画立案、がん患者及びその家族等への医療機関情報の提供などに役立てられています。また、当院でも自院のがん診療の把握のために同様に集計を行っています。今回は昨年８月に提出した2018年症例の集計結果をご報告します。

【登録件数】 2018年登録件数は756件(男性394件、女性362件)で前年(752件)と大差はみられなかった。男女比は男性が52.1%(前年55.9%)、女性が47.9%(前年44.1%)で、ほぼ全部位において男性の件数が減少していたが、肺は46件から67件と21件増加していた。

【患者住所医療圏】 担当医療圏の割合は82.7%であった。圏外の割合は17.3%で、その内93%が県外であった。担当医療圏の市町村が11ある中で、隣接する宮崎県えびの市は全体で５番目、鹿児島県伊佐市は６番目に多い市町村であった。当院は熊本県の南部に位置しており、担当医療圏のみならず、県境の宮崎県・鹿児島県からも多くの受診がっている。

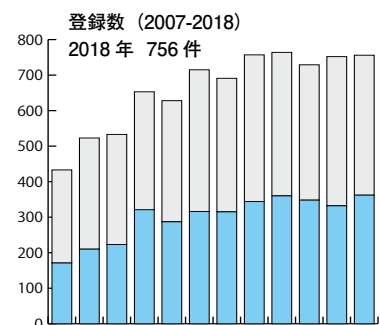
【年齢】 平均年齢は、全体70.6歳(前年70.0歳)、男性72.6歳(前年73.0歳)、女性68.4歳(前年66.2歳)で大きな変動はなかった。女性では乳房と子宮の割合が高いことと、その罹患患者の平均年齢が低いことにより全体の平均年齢に影響を与えている。

【部位】 登録数の上位５部位は①大腸②肺③乳房④悪性血液⑤胃の順であった。前年、５番目であった肺が２番目となり、その他の変動はなかった。

【Stageと治療内容】 全体のStage別割合はⅠ期39%、Ⅱ期12%、Ⅲ期11%、Ⅳ期19%であった。初回治療の47.1%が手術で内視鏡治療9.1%、化学療法29.6%、放射線治療12.5%であった。肺では他の部位と比べ、Ⅳ期の割合が44.6%と高いため、積極的治療を行わず、経過観察を選択する症例が多かった。乳房では他施設からの紹介による放射線治療目的の継続治療が20%であった。

当院では2017年に温熱治療装置を導入し、より効果的な集学的治療が可能となった。手術の必要な腎、尿路系のがんについては2018年時点では泌尿器科の医師が非常勤のみであったため、他医療機関へ紹介をしていたが、2020年度から常勤医が２名となり、今後は診断から治療まで地域完結型の診療が可能となることが期待される。

診療情報管理室 川内 広美

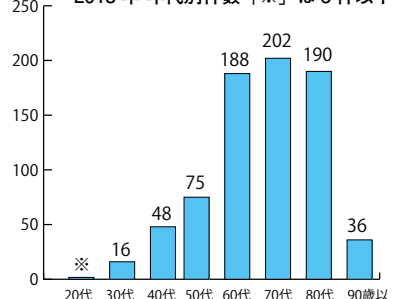


	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
男	262	313	310	332	341	399	376	413	404	381	420	394
女	171	210	223	321	287	316	315	344	360	348	332	362

部位別登録件数上位５部位

全体 / 件数	男性 / 件数	女性 / 件数
大腸	108	82
肺	90	44
乳房	82	37
悪性血液	78	23
胃	71	16

2018年 年代別件数「※」は３件以下


その他の集計結果については、病院ホームページ (<https://hitoyoshi.jcho.go.jp/> 診療実績・臨床指標 /) に掲載しています。

ご存じですか？ ACP と BCP

皆さん、ACP と BCP ってご存じですか？とても似ているこの言葉ですが全く別物なのです。

まず、ACP は『Advance Care Planning (アドバンス・ケア・プランニング)』のことを指します。これは、患者さん本人と家族が医療者や介護提供者などと一緒に、現在の病気だけでなく、意思決定能力が低下する場合に備えて、あらかじめ終末期を含めた今後の医療や介護について話し合うことや、意思決定が出来なくなったときに備えて、本人に代わって意思決定をする人を決めておくプロセスを意味しています。

BCP とは『Business Continuity Plan (ビジネス・コンティニュー・プラン)』のことです。これは、災害などの非常時でも企業が存続出来るよう対応策などを事前に定めた事業計画を

意味しています。私自身、今回調べて初めて知ったのですが、災害を想定した計画には CCP (地域の持続可能計画) や DCP (地域継続計画)、FCP (家族継続計画) といった計画もあるようです。

互いに全く違う分野で力を発揮するものですが、共通している点が『事前に計画を立てる』ということです。緊急の出来事は、予期せぬ時に起きるものです。もちろん、想定していなかったことが起きる可能性もあるため、その時には繰り返し計画し直す必要があります。自分自身や家族、またその周りの方がいざと言うときに困らないように ACP や BCP のような事前計画をこの機会に考えてみられてはいかがでしょうか。

医療福祉連携室 高橋 薫子

連携施設 探訪

当院では、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。今回は、「小規模多機能ホーム 黎明館 〒868-0092 熊本県球磨郡山江村大字山田丁 26)」さんです。

小規模多機能ホーム 黎明館 Vol.38

【施設の特徴】

山江村の中心部に位置し、隣接する村のグラウンドではグラウンドゴルフや中学生の部活動の練習など、地域の方々の行き交いを感じる事ができる、明るくのどかな雰囲気が特徴です。(看取:無)

※現在グラウンドは7月豪雨災害で仮設住宅設置箇所となっております。

【対象者】

山江村に住所のある方で、介護保険の介護認定が要介護1～5の方が対象。

【サービスの内容】

現在はコロナの影響で自粛傾向にありますが、普段は季節ごとに村内で催される行事も多く、サービスを利用しながら地域との繋がりが継続できるよう外出支援を多く取り入れています。併せて、季節感を堪能できる食事の提供や認知症進行予防(学習療法)の取り組み等も実施しています。

【地域の皆様に一言】

のんびりとした環境の中で、ご利用者様・地域の方々と日々楽しく過ごしております。介護保険サービス等についてのご相談にも応じておりますので、お困りのことがございましたら、いつでもご連絡ください。

【お問い合わせ】

TEL:0966-32-9677 FAX:0966-32-9788

管理者:山崎 久富

【訪問者の感想】

訪問時は、手作りの三角巾をつけスタッフと利用者の方でいきなり団子を作られていました。皆さん慣れた手つきで団子を丸め、終始楽しそうでした。南に面した明るい部屋で日当たりも良く気持ちよく過ごせる雰囲気だと感じました。

特色のごとく、地域のあらゆる行事に参加されるため、泊まりを利用されている方も地域との繋がりをずっと感じられると思います。庭には畑も設けられており、収穫した野菜等は食卓にならぶようです。



JCHO コンプライアンス研修会開催

独立行政法人地域医療機能推進機構コンプライアンス推進規程第7条に基づき、令和2年度JCHOコンプライアンス研修会が院内3階講堂において開催され9/15に参加しました。今回は、「密を避け全員参加」を目指し4回／日、計10日間の日程で開催されました。

研修内容は主に法令の遵守、社内規定やマニュアルの遵守、個人情報の適切な取り扱いなどについて、事例を通して理解を深める内容でした。

医療機関においては業務上、日常的に患者のみなさまと関わり個人情報に触れることとなりますので、定められている規程やマニュアルをしっかりと把握し、病院の信用・信頼に繋がられるよう今回の学びを意識して、自らが誠実に謙虚に判断・行動をしていけるよう日々の業務に取り組んでいかなければならないと改めて再認識できる機会になりました。

医療福祉連携室 野々上 真一

救急救命士の就業前病院実習を終えて

実習に際しましては、新型コロナウイルス感染拡大が進む中で、7月に豪雨災害を受けるなど、これまでとは大きく環境が変化した中、実習の機会を与えていただき、ありがとうございました。ご指導いただいた下川副院長をはじめ、スタッフの皆様、ご協力いただきました患者様にも、心からお礼と感謝申し上げます。

さて、実習中は、実習記録表を活用した振り返りを実施していただくことで、目標に対する自分自身の実習内容を見直し、対策を立て改善に繋げながら、計画的に実習に取り組むことができました。

この振り返りの中で、静脈路確保の手技や問診観察のスキルアップは勿論ですが、それ以上にPDCAサイクルやOGSMの考え方を見直し、意識することができました。この考え方は自分自身の考え方を整理して、救急活動だけではなく、日頃の業

務にも共通するものだと強く実感しました。

この考え方を、活動全体だけではなく、問診や観察の1つ1つに持

ち、現場で視て、聴いて、触れて感じた事を評価して、情報として伝えることを特に意識して現場活動に繋げたいと思います。また、救急隊全体で共有し、救急隊の質の向上にも繋げていけるように取り組みたいと思います。

最後に、私たち救急隊が伝える傷病者の情報が、インホスピタルの活動に影響を与え、救命にも繋がってくることを意識して、プレホスピタルとしての役割を果たしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

人吉下球磨消防組合 岡本 翔太



エスカレーター再稼働のお知らせ

令和2年7月4日の豪雨災害による浸水にて停止しておりましたエスカレーターの修理作業が9月14日より始まりました。9月20日に復旧作業が終了し、9月21日より来院される皆様のご利用が可能となりました。



約3か月間エスカレーターが使用できず、来院される皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

新 任 紹 介



まつもと ゆきこ 松本 由希子 (形成外科・医師)

趣味：ウォーキング、温泉

好きな言葉：ありがとう

自分の性格：慎重

自分のコマーシャル：5年前より、結婚・出産を機に人吉に住んでおりましたが、今までは八代の熊本労災病院に勤務していました。今回、7月の豪雨災害での被災をきっかけに、地元人吉で働くことを決意しました。形成外科のない病院での勤務は初めてで、自分に何ができるのか、今は不安が大きいです。一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



おだ きなえ 小田 早苗 (予防医療センター・准看護師)

趣味：ピアノ、フラダンス、寄せ植え

自分の性格：のんきな性格だと思います。



いとなが ゆうこ 糸永 裕子 (総務企画課・事務員)

趣味：演劇、映画、音楽鑑賞

モットー：継続は力なり

長所：何事にも一生懸命取り組み、生真面目

短所：優柔不断、心配性



ふじた あおい 藤田 葵 (循環器内科・クラーク)

趣味：こどもと料理

モットー：思い立ったら即行動！

自分の性格：負けず嫌い

自分のコマーシャル：地元で働けることをうれしく思います。よろしくお願い致します！



なかはら ゆか 中原 由華 (産婦人科・クラーク)

趣味：海外ドラマを見たり、洋楽を聴いたりすること (英語分らないですけど)

自分の性格：マイペース

自分のコマーシャル：大阪出身、結婚して主人の地元人吉へ。数年住んだ後、主人の転勤についていき、福岡、奄美へと十数年。今年2月やっと人吉に帰ってこれました。頑張りますので、よろしくお願いします。

